

ワークスタイル変革

企業が優秀な労働力を確保し、社員が十分な成果をあげていくためには、これまで通りの「同じ時間に、同じ場所で、同じように仕事をする」というスタイルは、だんだんとそぐわなくなってきました。

さまざまな属性をもつ社員が、それぞれの事情をもって働く時代を迎え、企業は、多様で柔軟な働き方を支援することが必要になっています。

さらにグローバル化が進むなか、海外との時差を利用した連携も求められています。すべての社員が最大限に「時間」と「場所」を有効活用するスタイルを実現するためにICTを使った“ワークスタイル変革”が期待されています。



テレワークやサーバ統合などを推進しより働きやすい職場を追求

多様な働き方を実現するとともにCO₂排出量を削減

日本ユニシスグループは、本業であるICTを通じてお客さまや社会に貢献するばかりでなく、社内のシステムにおいても積極的なICTの活用を進めています。

とくに社員の働きやすい職場づくりやCO₂排出量の削減においては、従来からの取り組みに加えて、業務の電子化やテレワークの推進、企業内サーバの統合化などワークスタイル(以下、WS)変革を通じて一層の活動推進をめざしています。



「ユニシス研究会」の活動

お客さま同士の研究活動でも“ワークスタイル変革”をテーマに



2010年度も、日本ユニシスのユーザー会であるユニシス研究会では、さまざまなテーマについて研究がなされました。そのうち関東11グループでは「クラウド時代のワークスタイル 働きやすさの向上」をテーマに、テレワーク・在宅勤務を具体的に想定しながらメリットや実現可能性、ワークスタイル変革を進めるための課題やヒントなどを話し合いました。ここでは、1年間の研究活動で感じたことについて伺いました。



近藤 威 様
アールアイ・ソフトウェア(株)
システム本部
システム第二事業部第四部

プロセス管理やセキュリティがしっかりしていないとだめ…という前提はありますが、テレワークについては、体調管理やモチベーション維持、そしてワークライフバランスのためにも魅力的だなと思いました



三浦 佳孝 様
東京電力(株)
システム企画部
事務システム企画グループ

ワークスタイル変革、とくにテレワークを推進していくと、どうしてもコミュニケーション不足などの課題が残ってしまいます。それを利用者も会社も、ICTをうまく活用してクリアできたらと思っています



鈴木 一弘 様
日本電子計算(株)
技術統括本部生産管理本部
生産技術部

ユニシス研究会での話し合いに刺激を受けながら、当社ではゲーム機を使ったインターネット会議やタブレットコンピュータを使ってお客さまとコミュニケーションを取ろうという新しい発想に取り組んでいます



細谷 祐志 様
三井住友海上システムズ(株)
契約サービスシステム部
証券・照会グループ

今回着目したテレワークは、当社が保険会社のシステムを開発しており、契約者さまの個人情報の取り扱いもあるので、取り入れづらいかもしれません。ただ、本活動ではいろいろな分野の方の話が聞けたので、勉強になりました



村井 貴彦 様
全日本空輸(株)
IT推進室基盤企画担当

テレワークは、業務に対する専門知識や経験がないと導入はなかなか難しいと思います。ただし、例えば定年退職者で長年の業務知識をもっている方などのスキルを活かすという観点からは有効かもしれないですね

ユニシス研究会とは

日本ユニシスグループのユーザーで組織するユーザー会。経営やICT活用に関するグループ研究活動をはじめ、企業見学会などの支部活動や全国イベントには、経営層から担当者層まで幅広い層のみなさまに参加いただいております。業界・企業の枠組みを越えた交流の場として多彩な活動が広がっています。



お客さまが実現したいことを一つひとつ成功へとつなげていきたい。ともに働くお客さま・メンバーの意識や働き方が良い方向へ変わる時、働きがいを感じます。
ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(株) 谷澤 嘉和

日本ユニシスグループの一員として、CSR活動への高い意識をもつ企業をめざしています。企業評価に不可欠な特許、技術評価に関する情報提供を通じて社会に貢献していきたいです。

エヌユー知財フィナンシャルサービス(株) 阪本 幸俊

